

2019年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2018年7月30日

上場会社名 JSR株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4185 URL http://www.jsr.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小柴 満信
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 桑島 信彦 TEL 03-6218-3517
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）
(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期 第1四半期	122,257	20.9	11,483	△9.6	11,594	△14.0	8,842	△12.0	8,939	△5.4	7,736	△41.6
2018年3月期 第1四半期	101,128	13.3	12,706	84.9	13,488	109.7	10,047	93.1	9,449	87.0	13,238	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期 第1四半期	40.16	40.05
2018年3月期 第1四半期	42.46	42.34

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期 第1四半期	678,359	432,257	396,037	58.4	1,778.98
2018年3月期	647,699	411,615	393,499	60.8	1,767.81

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2019年3月期	—				
2019年3月期（予想）		30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	240,000	17.9	22,000	△5.8	22,500	△9.4	17,000	△11.4	15,000	△16.5	67.39
通期	490,000	16.1	48,000	10.2	49,000	6.0	36,000	2.9	33,500	0.8	150.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）Crown Bioscience International、除外 1社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	226,126,145株	2018年3月期	226,126,145株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	3,505,489株	2018年3月期	3,534,779株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	222,601,596株	2018年3月期1Q	222,513,989株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

2018年7月30日（月）に、決算説明資料を当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10
(企業結合等関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2018年4月1日から同年6月30日）の概況

当社グループの主要な需要業界におきましては、4月以降順調に推移しております。自動車タイヤの需要は、米国では伸び悩んでいるものの、国内や他地域では増加しており、半導体市場は需要が伸びました。

このような状況のもと当社グループにおきましては、エラストマー事業では、技術的に優位性を持つ製品のグローバルな拡販に注力いたしました。合成樹脂事業では、2018年4月1日より新会社テクノUMG株式会社（テクノポリマー株式会社とユーエムジー・エービーエス株式会社の統合会社）の運営をスタートいたしました。デジタルソリューション事業では、半導体材料事業においては最先端技術に対応した素材の拡販を、ディスプレイ材料事業では高成長が期待される中国市場での拡販を進めました。第3の事業の柱と位置付けるライフサイエンス事業では、2018年5月末にCrown Bioscience Internationalの買収を完了し、創薬プロセスを支援する体制を整えました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上収益は1,222億57百万円（前年同期比20.9%増）、営業利益114億83百万円（同9.6%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益89億39百万円（同5.4%減）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

（単位：百万円）

区分	前第1四半期 連結累計期間		当第1四半期 連結累計期間		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
売上収益						
エラストマー事業	47,438	46.9%	49,653	40.6%	2,215	4.7%
合成樹脂事業	12,824	12.7%	26,400	21.6%	13,576	105.9%
デジタルソリューション事業	34,584	34.2%	35,398	29.0%	814	2.4%
ライフサイエンス事業	5,156	5.1%	8,974	7.3%	3,818	74.0%
その他事業	1,051	1.0%	1,800	1.5%	750	71.4%
調整額	75	0.1%	31	0.0%	△45	△59.2%
合計	101,128	100.0%	122,257	100.0%	21,128	20.9%
国内売上収益	43,815	43.3%	54,011	44.2%	10,195	23.3%
海外売上収益	57,313	56.7%	68,246	55.8%	10,933	19.1%
区分	前第1四半期 連結累計期間		当第1四半期 連結累計期間		増減	
	金額	売上収益比	金額	売上収益比	金額	比率
営業利益	12,706	12.6%	11,483	9.4%	△1,223	△9.6%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	9,449	9.3%	8,939	7.3%	△509	△5.4%

① エラストマー事業部門

エラストマー事業につきましては、販売数量は前年同期を上回り売上収益も前年同期を上回りました。営業利益は、原料価格上昇によるスプレッドの縮小により、前年同期を大きく下回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のエラストマー事業部門の売上収益は前年同期比4.7%増の496億53百万円、営業利益は前年同期比57.5%減の24億52百万円となりました。

② 合成樹脂事業部門

合成樹脂事業につきましては、4月にテクノポリマー株式会社とユーエムジー・エービーエス株式会社の統合会社であるテクノUMG株式会社が設立されたことにより、売上収益及び営業利益ともに、前年同期を大きく上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の合成樹脂事業部門の売上収益は前年同期比105.9%増の264億0百万円、営業利益は前年同期比53.0%増の21億71百万円となりました。

③ デジタルソリューション事業部門

デジタルソリューション事業につきましては、好調な半導体市場を背景に、半導体材料の販売数量が大きく増加したことにより、売上収益は前年同期を上回りました。営業利益は、半導体材料の売上収益の増加に伴う利益の増加により、前年同期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のデジタルソリューション事業部門の売上収益は前年同期比2.4%増の353億98百万円、営業利益は前年同期比1.5%増の81億99百万円となりました。

④ ライフサイエンス事業部門

ライフサイエンス事業につきましては、KBI Biopharma, Inc. の販売拡大やCrown Bioscience Internationalの連結子会社化により、売上収益は前年同期を大きく上回りました。営業損益は売上収益の拡大により黒字となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のライフサイエンス事業部門の売上収益は前年同期比74.0%増の89億74百万円、営業損益は前年同期の営業損失14億30百万円から営業利益3億68百万円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年4月25日の「2018年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2018年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	124,956	85,667
営業債権及びその他の債権	122,476	130,310
棚卸資産	87,567	98,102
その他の金融資産	13,776	7,394
その他の流動資産	9,134	6,884
流動資産合計	357,908	328,357
非流動資産		
有形固定資産	159,834	178,358
のれん	19,389	59,933
その他の無形資産	10,403	12,328
持分法で会計処理されている投資	24,777	23,617
退職給付に係る資産	1,003	1,037
その他の金融資産	64,970	64,121
その他の非流動資産	1,862	2,163
繰延税金資産	7,552	8,446
非流動資産合計	289,791	350,002
資産合計	647,699	678,359

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2018年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	110,303	118,740
借入金	25,947	27,678
未払法人所得税	4,520	2,626
その他の金融負債	641	1,010
その他の流動負債	12,607	11,813
流動負債合計	154,019	161,867
非流動負債		
借入金	53,456	54,938
退職給付に係る負債	14,500	15,493
その他の金融負債	1,674	2,016
その他の非流動負債	2,480	2,317
繰延税金負債	9,955	9,471
非流動負債合計	82,064	84,235
負債合計	236,084	246,102
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	23,370	23,370
資本剰余金	18,502	18,523
利益剰余金	331,913	335,543
自己株式	△5,358	△5,313
その他の資本の構成要素	25,071	23,914
親会社の所有者に帰属する持分合計	393,499	396,037
非支配持分	18,116	36,220
資本合計	411,615	432,257
負債及び資本合計	647,699	678,359

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上収益	101,128	122,257
売上原価	△68,209	△85,929
売上総利益	32,920	36,328
販売費及び一般管理費	△20,391	△25,210
その他の営業収益	301	418
その他の営業費用	△276	△406
持分法による投資損益	153	353
営業利益	12,706	11,483
金融収益	1,007	433
金融費用	△225	△322
税引前四半期利益	13,488	11,594
法人所得税	△3,441	△2,752
四半期利益	10,047	8,842
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	9,449	8,939
非支配持分	599	△97
合計	10,047	8,842
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	42.46	40.16
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	42.34	40.05

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期利益	10,047	8,842
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動額	2,187	△170
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△3	6
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る公正価値の純変動額	△55	22
在外営業活動体の換算差額	506	182
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	556	△1,146
税引後その他の包括利益合計	3,191	△1,106
四半期包括利益合計	13,238	7,736
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	12,293	7,977
非支配持分	945	△241
合計	13,238	7,736

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計		
2017年4月1日残高	23,320	18,441	309,517	△5,396	16,006	361,889	14,475	376,364
四半期利益			9,449			9,449	599	10,047
その他の包括利益					2,844	2,844	346	3,191
四半期包括利益合計	-	-	9,449	-	2,844	12,293	945	13,238
株式報酬取引		22				22		22
配当金			△5,563			△5,563	△6	△5,569
自己株式の変動				△0		△0		△0
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替			△2		2	-		-
所有者との取引額等合計	-	22	△5,565	△0	2	△5,541	△6	△5,547
2017年6月30日残高	23,320	18,464	313,400	△5,396	18,853	368,641	15,414	384,055

当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計		
2018年4月1日残高	23,370	18,502	331,913	△5,358	25,071	393,499	18,116	411,615
四半期利益			8,939			8,939	△97	8,842
その他の包括利益					△962	△962	△144	△1,106
四半期包括利益合計	-	-	8,939	-	△962	7,977	△241	7,736
株式報酬取引		△49			25	△24		△24
配当金			△5,565			△5,565	△46	△5,610
自己株式の変動		5		44		49		49
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替			284		△284	-		-
企業結合による変動		65	7			72	17,670	17,742
非支配持分の変動						-	2	2
その他の増減額			△36		64	28	718	746
所有者との取引額等合計	-	21	△5,309	44	△196	△5,440	18,345	12,905
2018年6月30日残高	23,370	18,523	335,543	△5,313	23,914	396,037	36,220	432,257

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しております。

IFRS	新設・改訂の概要
IFRS第15号 顧客との契約から生じる収益	収益認識に関する会計処理の改訂

当社グループは、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」（2014年5月公表）及び「IFRS第15号の明確化」（2016年4月公表）（合わせて以下「IFRS第15号」という。）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。IFRS第15号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

IFRS第15号の適用に伴い、IFRS第9号「金融商品」に基づく利息及び配当収益等を除き、以下の5ステップを適用することにより収益を認識しております。

ステップ1：顧客との契約を識別する。

ステップ2：契約における履行義務を識別する。

ステップ3：取引価格を算定する。

ステップ4：取引価格を契約における履行義務に配分する。

ステップ5：履行義務の充足時に（又は充足するにつれて）収益を認識する。

従前の会計基準を適用した場合と比較して、要約四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

当社グループは、本社に製品別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、また、中核グループ企業を中心となって国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、事業部及び中核グループ企業を基礎とした製品別のセグメントから構成されております。

当社グループは、自動車タイヤ用途の汎用合成ゴム、自動車部品用途の機能性特殊合成ゴム、樹脂改質用途の熱可塑性エラストマー、塗工紙用途の合成ゴムラテックス等を製造販売しております「エラストマー事業」、自動車及びOA機器・アミューズメント用途等のABS樹脂等を製造販売しております「合成樹脂事業」、半導体材料、ディスプレイ材料、エッジコンピューティング関連等を製造販売しております「デジタルソリューション事業」、及び「ライフサイエンス事業」の4つを報告セグメントとしております。なお、「デジタルソリューション事業」は、製品及びサービスの性質、生産過程の性質及び市場等の経済的特徴の類似性に基づき、複数セグメントを集約した上で報告セグメントとしております。

各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
エラストマー事業	スチレン・ブタジエンゴム、ブタジエンゴム、エチレン・プロピレンゴム等の合成ゴム及び精練加工品、熱可塑性エラストマー及び加工品、紙加工用ラテックス、一般産業用ラテックス、アクリルエマルジョン、原料ラテックスの精製加工品、高機能コーティング材料、高機能分散剤、工業用粒子、潜熱蓄熱材料、遮熱塗料用材料、電池用材料、ブタジエンモノマー等の化成品、等
合成樹脂事業	ABS樹脂、AES樹脂、AS樹脂、ASA樹脂等の合成樹脂
デジタルソリューション事業	<p><半導体材料事業>リソグラフィ材料（フォトレジスト、多層材料）、CMP材料、実装材料、等</p> <p><ディスプレイ材料事業>カラー液晶ディスプレイ材料、反射防止膜材料、機能性コーティング材料、等</p> <p><エッジコンピューティング事業>耐熱透明樹脂及び機能性フィルム、高機能紫外線硬化樹脂、光造形・光成形、等</p>
ライフサイエンス事業	診断・研究試薬及び同材料、バイオプロセス材料、バイオプロセス開発・製造委託、等

なお、当社グループの報告セグメントは、従来「エラストマー事業」、「合成樹脂事業」、「多角化事業」としておりましたが、「多角化事業」に含めていたライフサイエンス事業の拡大に伴い、当第1四半期連結会計期間より「ライフサイエンス事業」を報告セグメントの一つとし、また、「多角化事業」に含めていた「ファイン事業」を「デジタルソリューション事業」と改称して報告セグメントの一つといたします。なお、従来の「石油化学系事業」、「多角化事業」は廃止しております。これらに伴い、当第1四半期連結会計期間より当社グループの報告セグメントは、「エラストマー事業」、「デジタルソリューション事業」、「ライフサイエンス事業」、及びテクノUMG株式会社が主体の「合成樹脂事業」となります。なお、このセグメント変更起因した各事業内容の見直しに伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間において用いた事業区分により組み替えて表示しております。

報告セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している方法と同一であります。

(2) 報告セグメントの収益及び損益

当社グループの報告セグメントに関するセグメントの情報は以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結損 益計算書 計上額
	エラスト マー	合成樹脂	デジタル ソリューション	ライフサ イエンス				
外部顧客からの売上 収益	47,438	12,824	34,584	5,156	1,051	101,053	75	101,128
営業利益又は営業損 失(△)	5,764	1,419	8,077	△1,430	△440	13,390	△684	12,706
金融収益								1,007
金融費用								△225
税引前四半期利益								13,488

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リチウムイオンキャパシタ事業等を含んでおります。

2. 営業利益の調整額△684百万円には、各セグメントに配賦されない全社損益等が含まれております。

当第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結損 益計算書 計上額
	エラスト マー	合成樹脂	デジタル ソリューション	ライフサ イエンス				
外部顧客からの売上 収益	49,653	26,400	35,398	8,974	1,800	122,226	31	122,257
営業利益又は営業損 失(△)	2,452	2,171	8,199	368	△463	12,727	△1,244	11,483
金融収益								433
金融費用								△322
税引前四半期利益								11,594

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リチウムイオンキャパシタ事業等を含んでおります。

2. 営業利益の調整額△1,244百万円には、各セグメントに配賦されない全社損益等が含まれております。

(企業結合等関係)

1. 子会社を吸収分割承継会社とする吸収分割

(1) 企業結合の概要

当社は、宇部興産株式会社、三菱ケミカル株式会社がそれぞれ50%ずつ出資するユーエムジー・エービーエス株式会社を吸収分割会社とし、当社の完全子会社であるテクノポリマー株式会社（2018年4月1日にテクノUMG株式会社に改名）を吸収分割承継会社とする吸収分割を2018年4月1日付で実施いたしました。

吸収分割に際し、テクノUMG株式会社は新株を発行し、当社が保有するテクノUMG株式会社の持分割合は51%となっています。

① 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称	ユーエムジー・エービーエス株式会社
事業の内容	ABS樹脂の製造及び販売

② 企業結合日

2018年4月1日

③ 取得企業が被取得企業の支配を獲得した方法

ユーエムジー・エービーエス株式会社を吸収分割会社とし、テクノポリマー株式会社を吸収分割承継会社とする同社普通株式58,800株の交付による吸収分割

(2) 企業結合の主な理由

今後もさらに厳しさを増す国内外のABS樹脂事業を取り巻く環境下において、国内への安定供給と海外での拡販のため、オペレーションを最適化し、製造効率とコスト競争力を確保することを主な目的としております。

(3) 企業結合日における資産・負債の公正価値及びのれん

① 支払対価の公正価値

テクノUMG株式会社普通株式	19,269百万円
----------------	-----------

② 株式の算定方法

第三者算定機関から提出を受けた株式価値評価レポート等を参考に、当事者間で協議の上、算定しております。

③ 取得資産、引受負債及びのれん

取得日（2018年4月1日）

流動資産

現金及び現金同等物	2,617百万円
営業債権及びその他の債権	10,508百万円
棚卸資産	6,945百万円
その他	736百万円

非流動資産

有形固定資産	11,356百万円
その他の無形資産	357百万円
繰延税金資産	992百万円
その他	1,775百万円

取得資産	35,287百万円
------	-----------

流動負債

営業債務及びその他の債務	13,865百万円
借入金	3,450百万円

未払法人所得税等	719百万円
その他	910百万円
非流動負債	
借入金	80百万円
退職給付に係る負債	629百万円
その他	45百万円
引受負債	19,698百万円
取得資産及び引受負債（純額）	15,589百万円
のれん（注）	3,680百万円

（注） のれん

のれんの主な内容は、個別に認識要件を満たさない、取得から生じることが期待される既存事業とのシナジー効果と超過収益力であります。また、のれんは、税務上損金算入不能なものです。

なお、当第1四半期末の要約四半期連結財政状態計算書におけるのれんの金額は、テクノUMG株式会社に対する持分変動の影響があり、1,877百万円となっております。

（4） 取得関連コスト

取得関連コストは前連結会計年度以前の金額も含めて136百万円であり、当四半期連結会計年度に発生した金額を要約四半期連結損益計算書の「販売費及び一般管理費」に含めております。

（5） 当社グループの業績に与える影響

当連結会計年度における影響額の合理的な算定が困難であるため、記載しておりません。

（6） 非支配持分への影響

テクノUMG株式会社に対する持分が100%から51%に変化したことにより、非支配持分は17,625百万円増加しました。

2. Crown Bioscience Internatinal取得による子会社化

（1） 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称	Crown Bioscience International
事業の内容	創薬支援サービス

② 取得日

2018年5月31日

③ 取得した議決権比率

100%

④ 支配獲得方法

現金を対価とする株式の取得

⑤ 企業結合の主な理由

当社グループのライフサイエンス事業に創薬探索開発受託事業を取り込み、製薬業界に創薬プロセスへの製品・サービス提供からGMP製造までシームレスに価値を提供していくことを主な目的としております。

(2) 取得日における支払対価の公正価値、取得した資産、引き受けた負債の認識額

取得対価	40,583百万円
------	-----------

流動資産

現金及び現金同等物	4,398百万円
営業債権及びその他の債権	2,164百万円
その他	429百万円

非流動資産

有形固定資産	2,412百万円
その他の無形資産	933百万円
繰延税金資産	132百万円
その他	87百万円

取得資産	10,555百万円
------	-----------

流動負債

営業債務及びその他の債務	1,282百万円
その他	3,941百万円

非流動負債

借入金	2,581百万円
繰延税金負債	128百万円

受入負債	7,932百万円
------	----------

非支配持分	157百万円
-------	--------

のれん	38,117百万円
-----	-----------

当第1四半期連結会計期間末において、発生したのれんの金額、企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額等については、企業結合日における識別可能資産及び負債の特定を精査中であり、取得価額の配分が完了していないため、暫定的な会計処理を行っております。

当企業結合に係る取得関連コストは前連結会計年度以前の金額も含めて335百万円であり、当四半期連結会計年度に発生した金額を要約四半期連結損益計算書の「販売費及び一般管理費」にて費用処理しております。

のれんの内容は、主に期待される将来の収益力に関連して発生したものであります。当該のれんは税法上、損金には計上できません。

(3) 当社グループの業績に与える影響

当取得による当四半期連結会計期間の業績に与える影響は軽微であります。